

正法に帰依し、再び

# 大石寺へ登山しよう



大石寺三門と富士山

## 学会員である皆さんは、 登山しなくなって何年 経ちますか？

日蓮大聖人は、しばらく登山してこなか  
った南無阿弥陀の安否を心配し、

「参詣道かに中絶せり、急々に来路を  
企つべし」(御書1569)

と急ぎ登山するよう勧められています。

皆さんにとって、今、何よりも大事なこ  
とは、総持の人や幹部の言いなりになるの

ではなく、自ら  
判断して学会を  
離れ、日蓮正宗  
信徒として一日  
も早く大石寺に  
登山参詣するこ  
となのです。



大石寺参詣の賑わい

大石寺へ登山しよう  
大石寺へ登山しよう  
大石寺へ登山しよう  
大石寺へ登山しよう  
大石寺へ登山しよう  
大石寺へ登山しよう  
大石寺へ登山しよう  
大石寺へ登山しよう  
大石寺へ登山しよう  
大石寺へ登山しよう

# 大石寺は功徳の根源

総本山大石寺は、功徳の源である本門戒壇の大御本尊がまします根本道場です。また大石寺には、日蓮大聖人の法脈を継承される御法主上人が住まわれ、大御本尊を崇拝し、一切衆生救済と世界平和を日々にご祈願されています。

大聖人が、誓山の功徳について、

「誓山の罪障もなめて今生一世に消滅すべきか」(御書1502)

と御誓のように、私たちは大石寺に誓山参詣し、御開罪を受けることによって、過去過々劫よりの諸法罪障を必ず消滅し、成仏を遂げることができるのです。

このことから日蓮上人は、

「志有らん人は誓山して押したまへ」(『寿屋証談』 宣要10-131)

と示され、誓山参詣して大御本尊を押すことの大事を教えられています。

## 芦田城聖創価学会第二代会長指導より

「なんといっても、御本山(大石寺)に登り、劇しく大御本尊様を押まなくては、本物の信心になれない」

(芦田城聖全集 3-490)

「御法主上人訳下をとおして大御本尊を押しますれば、かならず功徳がでてる」

(芦田城聖全集 4-399)

## Q & A

**Q1** 正本堂が解体されたあと、大御本尊はどうなったのですか？

平成14年10月、総本山には新たに日蓮正宗總教の真心の御料長による「奉安堂」が建立され、本門戒壇の大御本尊が遷渡されています。2000名以上もの人を一度に収容する奉安堂は、伝統建築の美しい外観と優れた耐震構造を備える、日本最大級の仏教建築物です。現在は、この奉安堂で御開罪が行なわれています。

**Q2** 大石寺へ参詣することは、読法与阿になると聞きましたが？

**A** 本門戒壇の大御本尊は、「日蓮がたましひをすみにもめながしてかきて御ぞ」(御書685)との御誓どおり、日蓮大聖人の御法座です。その大御本尊を押することは聖母の日蓮大聖人にお自選りをまかせていただくことであり、無量の罪障を赦むことができるのです。むしろ、色々な誓山をこじつけて大石寺を崇拝し、大御本尊への誓山参詣を阻止する創価学会は、日蓮大聖人に巧を引く大読法団体です。その学会に参詣し続ける限り、あなたは読法与阿罪を免れないと言えます。

**Q3** 大石寺へ直接行かなくても、大御本尊を信じていれば成仏できると教えられましたが…。

**A** 行こうと思えば行けるのに誓山しないのと、誓山したくてもできないのでは、まったく意味が違います。私たちの仏道修行には、大御本尊を御開罪する信心が大切です。きりかたという高僧にもかかかわらず次第から大聖人のしとを語られた阿良良の御誓を目心に思いを馳せ、あらゆる困難を乗り越え、誓山参詣してこそ成仏することができるのです。